

CU 東京三多摩

2025年8月

創立10周年

記念誌



初めての駅頭での宣伝（2015年立川駅）



コミュニティユニオン東京三多摩地域本部

目 次

1、創立10周年によせて

- (1) CU 東京三多摩地域本部執行委員長 宮田清志さん 1 ページ
- (2) CU 東京本部執行委員長 佐藤義見さん
- (3) 八王子合同法律事務所 顧問弁護士 尾林芳匡さん

2、CU 三多摩結成から10年の歩み

CU 東京三多摩地域本部書記長 2 ページ

3、労働相談

- (1) これまでの労働相談の件数、相談の類型 4 ページ
- (2) 労働相談の解決の実例（150例から選択） 5 ページ
 - ① 団体交渉で解決した 18 例
 - ② 裁判等で解決 2 例

4、その他

- (1) 朝日生命事件記者会見 19 ページ
- (2) CU 三多摩ニュース 第1号 22 ページ



コミュニティユニオン東京三多摩地域本部 10周年に寄せて

学習を進め、共に前進！

コミュニティユニオン東京三多摩地域本部
執行委員長 宮田 清志

コミュニティユニオン東京三多摩地域本部は2015年6月にコミュニティユニオン東京三多摩協議会として立ち上げられました。立ち上げ当初25人でしたが、現在は300人を超える組織に前進しています。

この間に300件を超す労働相談に対応し、問題を解決してきました。一昨年には1年間を通じて「労働者のための労働法連続講座」を八王子合同法律事務所の弁護士の皆さんの手を借りながら開催し、学習を強めてきました。

また昨年は大企業である朝日生命による「障がい者雇止め」の問題では労働審判で画期的な勝利和解を勝ち取りました。何よりも組合員に寄り添い駆け込み寺としての役割を果たしてきたところです。

昨年名称がコミュニティユニオン東京三多摩地域本部となり、さらにこの運動の発展が求められることとなります。

現在世の中を見ると、格差と分断が広がり弱い立場の人たちにパワハラ・セクハラ・雇止めなど厳しい時代になっています。今以上に仲間の皆さんと学習を進め、共に前進をして行きたいと思います。



本部と共に日本全体の労働環境の向上に大きく貢献を！

コミュニティユニオン東京本部執行委員長 佐藤 義見

コミュニティユニオン東京三多摩地域本部10周年を心よりお祝い申し上げます。最高現勢で迎えたことは、役員、組合員、家族の皆さんの団結の力だと思います。

労働相談では数々の実績を作り、地域の団体や労働者に信頼される組織となっています。

コミュニティユニオン東京が3000名を目標にする現在、三多摩地域本部は安定した350名を実現し、益々地域の労働者に信頼され、直近の運動の成果に確信を持ち、本部と共に日本全体の労働環境の向上に大きく貢献していただくことを期待しています。



三多摩地域の労働者の権利救済の拠り所

八王子合同法律事務所 弁護士 尾林 芳匡

コミュニティユニオン東京三多摩地域本部の創立10周年おめでとうございます。三多摩地域の労働者の権利救済の拠り所として、大きな役割を果たしてきたことについて、あらためて敬意を表するものです。

八王子合同法律事務所は、事務所をあげてみなさんの活動に協力してきました。具体的な労働相談や事件について、裁判例や法的手続を駆使して取り組み、解決をはかることは、もちろんのことです。加えて、4役・



事務局会議に弁護士が参加して、組合としての労働相談の内容を一緒に考え、法的な助言をしつつ、弁護士も学ばせていただくという関係を続けてきました。相談員養成のための学習会でも講師を務めてきました。

これからも力を合わせて、活動や組織を発展させ、地域から労働運動の力を高めていっていただくことを、心から願ってやみません。ともにがんばりましょう。

CU 三多摩結成から10年の歩みを振り返って

CU 東京三多摩地域本部 書記長 大江 拓実

CU 東京本部 組合員は結成時57人から現在1900人へ

コミュニティユニオン（CU）東京は2008年6月に、23区を中心に16組織で準備会を結成し、16年前の2009年6月14日、組織人員57人で結成しました。それは、リーマンショックの翌年、新自由主義の行き詰まりと矛盾が深刻になり、派遣・非正規労働者に苦難が押し寄せてきた時代です。自民党政権への批判が高まり、民主党政権が誕生した歴史の転換を象徴する年でした。時代の要請を受けた組合結成でした。この16年で、CU東京は組合員の奮闘で、2025年6月29日の第17回定期大会は、1900人の組合員で迎えました。

CU三多摩協議会は、2015年2月18日に設立準備会を国分寺労政会館で開催し、組合員と加入予定者、支援組合など24人が参加しました。

CU三多摩結成は、2015年6月28日 組合員25人からスタート

設立準備会では、CU東京平山副委員長の「労働組合がなぜ必要か・その役割」を改めて学び、6月の結成まで4回の準備会と5回の事務局会議で事務所の設置問題と付随する電話回線・パソコン通信・労金口座開設、同時に、今大会に提案する役員体制や予算・当面の方針について相談、準備。CU三多摩の組合作りは立ち上げのための資金を含め、ゼロからのスタート。

準備委員を中心に活動はすべて完全なボランティアで進められてきました。組合結成には財政的基盤を作る必要があり、そこに既存の労働組合の支援が必要不可欠でした。

2015年6月28日の結成大会には、組合員14人、支援者・労組17人（15団体・労組）、来賓8人全体で39人が参加しました。

三多摩協議会結成時の登録人員は25人、「三多摩地域で誰でも1人でも加入できる個人加盟の地域労組として、三多摩地域の労働者の皆を作ろう」との呼びかけと取り組みは、多くの支援者と東京土建の三多摩の各支部へも広がり、第2回定期大会では、165人まで前進させる事が出来ました。

これまで事務所の当番体制の充実、定期的な学習や宣伝行動、機関紙「CU三多摩ニュース」の全組合員への郵送、ホームページの開設、組合員交流を重視し、結びつきを強める取り組み行ってきました。

地域に根差した活動をめざして 多摩稲城と清瀬東久留米で分会結成
CU三多摩は300人組織を実現 本部規約改定で三多摩地域本部へ

2017年3月に多摩稲城分会、18年2月に清瀬東久留米分会が設立され、2021年8月1日の第7回定期では、CU三多摩300人組織を実現しました。現在、組織人員は、318人となっています。

昨年の本部定期大会で規約改定があり、「三多摩協議会」の名称を「三多摩地域本部」に改訂しました。今年2月には、準備会結成から10年を迎え、本日の第11回定期大会後、CU三多摩地域本部結成10周年の記念式典を開催することになりました。

一人ひとりの働く者に寄り添い、生活や権利を守る運動や憲法と平和を守る、「8時間働けばまともに暮らせる社会」へ、個人加盟労組の活動と役割の理解を広め、CU東京・三多摩地域本部のさらなる発展めざして奮闘します。



働く者のための労働法連続講座



清瀬東久留米分会のみなさん



2025年三多摩メーデー

CU三多摩組合員数の推移と目標

